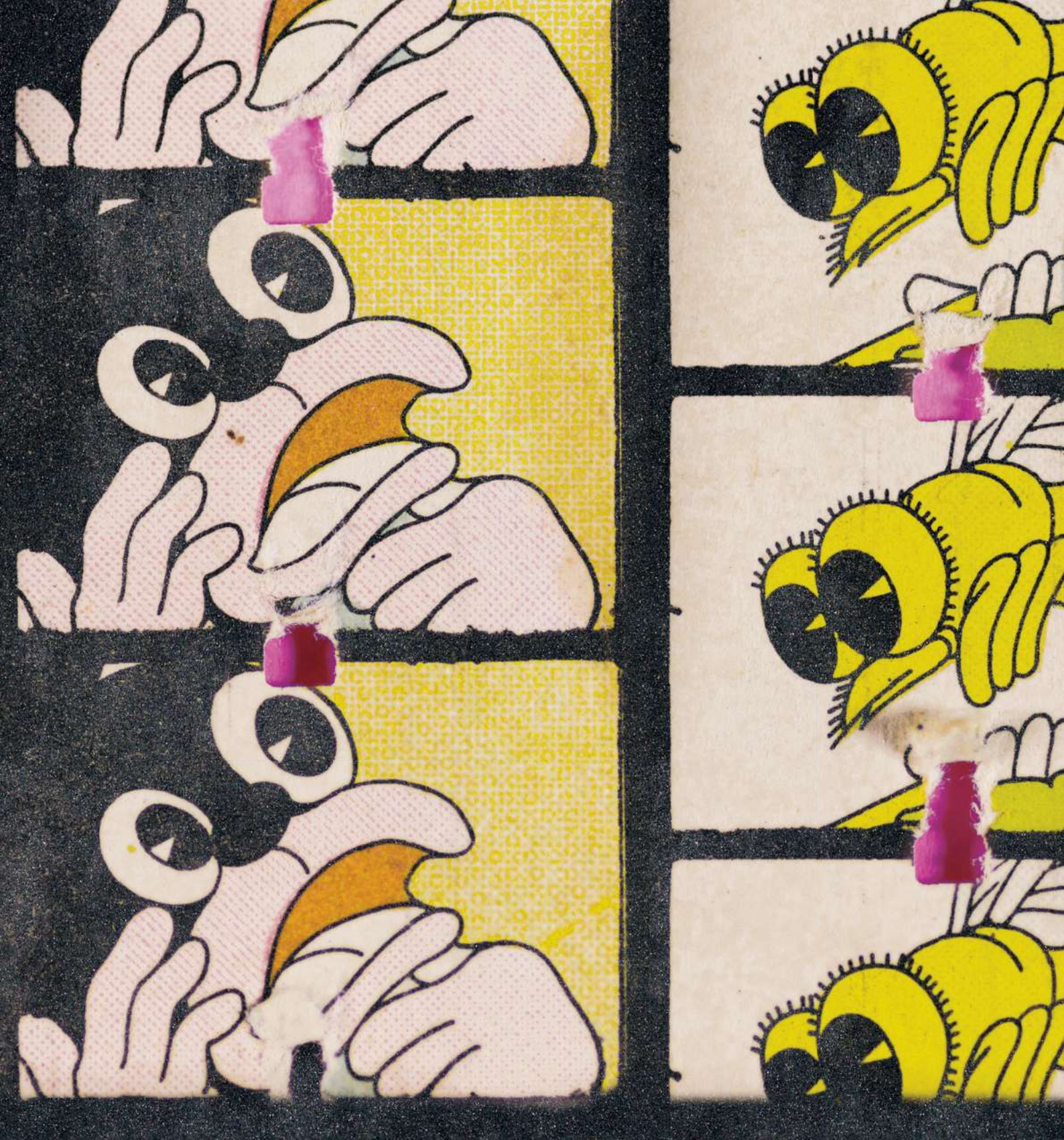




知られざる日本アニメの源流

紙フィルムの世界

2025年6月14日-7月6日

東京 新文芸坐
新潟 高田世界館
京都 京都府立文化芸術会館
大阪 シアターセブン
愛媛 常設活動写真館 旭館
広島 広島市映像文化ライブラリー



Bucknell
UNIVERSITY

主催 UCLA & 早稲田大学 柳井イニシアティブ
協賛 BUCKNELL UNIVERSITY

弁士 片岡一郎・大森くみこ・山内菜々子・樗澤賢一
デュオ夢乃（箏：木村伶香能 チェロ：玉木光）

「紙フィルムの世界」上映会

弁士と音楽のライブで楽しむ貴重なアニメーション短篇

主催/UCLA & 早稲田大学柳井イニシアティブ、広島市映像文化ライブラリー

協賛/Bucknell University

協力/国立映画アーカイブ、おもちゃ映画ミュージアム、ひろしま国際平和文化祭コラボイベント



日本にはかつて、紙製フィルムによる子ども向けの短編映画がありました。映画館ではセルロイドのフィルムで上映されていた時代に、1932～38年の短い期間だけ、家庭用おもちゃとして「紙フィルム」が売られていたのです。子供たちは買ってもらった紙フィルムを専用の手回しの映写機で上映して楽しみました。その多くはアニメーションで、現代に発展した日本のアニメーションの源流のひとつともなりました。そして、映画館では白黒映画が上映されていた当時、紙フィルムではカラーの色鮮やかな色彩の作品が観られました。かわいい動物たちのおとぎ話、とぼけた侍たちの時代劇、時代を反映した戦争モノまで、多種多様な作品がありました。

この上映会では、現存する貴重な紙フィルムからデジタル化された34本を、弁士の語りと音楽のライブパフォーマンスとともに上映します。知られざる紙フィルムの世界をお楽しみください。

2025年7月6日(日)15:00～

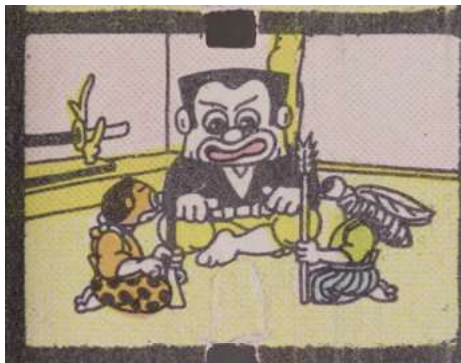
鑑賞料／大人380円、シニア(65歳以上)180円、25歳以下無料

プログラム／アニメーション短篇など約60分程度
弁士・伴奏付き上映会

出演／片岡一郎(活動写真弁士)

伴奏／デュオ夢乃

[木村伶香能(箏)、玉木光(チェロ)]



■出演者プロフィール

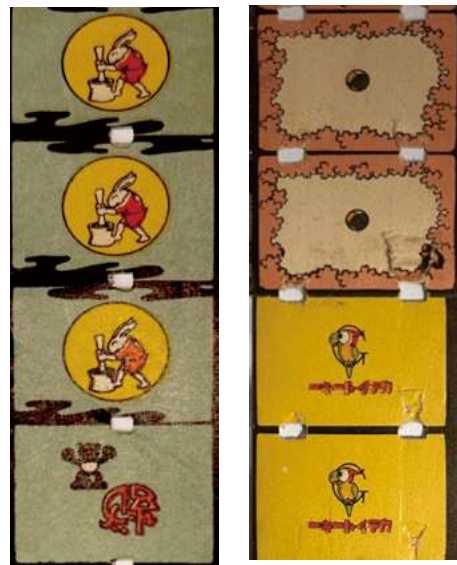


片岡一郎(活動写真弁士)

2002年、澤登翠に入門。東京を拠点に日本各地で活動し、海外でも“The Art of the Benshi”など23 か国で公演し活動写真弁士の文化を国際的に発信している。これまで無声映画約400作品の弁士を務める。『春の雪』、『ゆきてかへらぬ』、『BAUS』ほか『いだてん』『ブギウギ』などの作品に弁士役で出演。周防正行監督『カツベン!』では出演、指導、時代考証で参加。2020年に単著『活動写真弁士史』を上梓。

デュオ夢乃[木村伶香能(箏)、玉木光(チェロ)]

邦楽とクラシックの伝統に根ざしつつ、新しい室内楽を開拓。ニューヨークタイムズ等から度々高評を得る。2019年デュオ10周年記念リサイタルをカーネギーホールにて開催。全米室内楽協会より和洋デュオとして初めて、委嘱プログラム助成を授与される。ケンブリッジ大学、トリニダード「日本・カリブ交流年2014年」記念事業ほか海外公演多数。ケネディセンター、スミソニアン国立美術館、国連本部等で演奏。日本でのリサイタルも長年開催。第24回青山音楽賞・パロックザール賞を受賞。2024年クラシックメジャーレーベルNAXOSより「平家組曲」を発表。



広島市映像文化ライブラリー

広島市中区基町3-1 ☎082-223-3525 FAX082-228-0312

■開館時間：火～土曜日 午前10時～午後8時（日曜日、祝日、8月6日は午後5時まで） ■休館日：月曜日（祝日は開館）、祝日の振替日、臨時休館（令和7年10月1日～）